

ウ 平成 年度の事業計画（又は事業実績）

(ア) 事業実施内容及び実施時期

実施時期	実施内容	
	計 画	実 績
第 1 四半期 (4～6月)		
第 2 四半期 (7～9月)		
第 3 四半期 (10～12月)		
第 4 四半期 (1～3月)		

注 1：複数回実施する場合は、概要を記入します。

注 2：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

(イ) 主要原料の取引を行う農林漁業者等の概要

農林漁業者等	所 在 地	対象農林水産物	作付面積等 (ha)	出 荷 量 (t)	販 売 額 (百万円)

注：直近年度の作付面積等、出荷量、販売額等を記入します。

(ウ) 開発する商品（又は開発した商品）の状況

a 開発する新商品名（仮称を含む）及び概要

新商品名	概 要	計 画	実 績

注1：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

注2：試作品の改良や分析を複数回実施する場合は、計画欄（実施報告時は実績欄）にその旨を記載します（3回まで）。

b 開発する新商品に関する検討状況

	検討状況	実 績
仕入れ先の確保の状況		
製造過程における技術的課題		
販売価格の設定及びその考え方		
事業の実施体制		
その他		

注1：検討状況欄には、計画策定時の検討状況を記入します。

注2：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

(エ) 開発・製造・販路開拓等の実施に係る連携体制

概略図（産地、農林漁業者、開発・製造企業、研究機関、販路開拓する者等の連携参加者の構成及び役割）

注：連携に参画する農林漁業者・民間事業者等の名称及び役割を明記します。

開発、市場評価、販路開拓等に参画するスタッフの所属・役職名	

(オ) 配食サービスの実証

	実施時期	実施内容	実施場所	対象者	提供数
計画					
実績					

注1：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

注2：対象者に対してアンケート調査を行います。

注3：実施しない場合には、本項目を省略することができます。

(カ) 体験企画

	開催時期	開催名称	開催内容	開催場所	対象者	備考
計画						
実績						

注1：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

注2：対象者に対してアンケート調査を行います。

注3：実施しない場合には、本項目を省略することができます。

(キ) 食と健康サロンの設置

	実施時期	実施内容	実施場所	対象者	備考
計画					
実績					

注 1：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

注 2：対象者に対してアンケート調査を行います。

注 3：実施しない場合には、本項目を省略することができます。

(ク) 介護食品提供方法の実証

	実施時期	実施内容	実施場所	対象者	提供数
計画					
実績					

注 1：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

注 2：対象者に対してアンケート調査を行います。

注 3：実施しない場合には、本項目を省略することができます。

(ケ) セミナーの開催

	開催時期	開催名称	開催内容	開催場所	対象者	備考
計画						
実績						

注1：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

注2：対象者に対してアンケート調査を行います。

注3：実施しない場合には、本項目を省略することができます。

(コ) 主要原料取引計画及び売上計画

a 主要原料取引計画の概要

主要原材料名	(平成 年)		
	原料使用量 (ト)	うち契約取引数量 (ト)	相手先

注：翌年度からの計画を、年度別（当年4月から翌年3月まで）に記入して下さい。また、複数年度にわたる事業計画を立てる場合には、適宜欄を追加して記載します。

b 売上計画の概要

製品名	販売先	初年度 (平成 年)a 千円	第2年度 (平成 年) 千円	第3年度 (平成 年)b 千円	b/a %
計					

注：翌年度からの計画を、年度別（当年4月から翌年3月まで）に記入します。

(サ) 報告書の作成・配布

作成部数	主な配布先	備考
部		

⑥ 新技術等の事業化実証

ア 事業の目的等

※ 本事業の実施により、どのような事業を展開し、農林水産業・農山漁村に関連する資源を活用した新産業の創出に関して、どのような成果を
実現しようとする事業なのかを記載します。

イ 事業の背景となる市場ニーズ及びこれまでの取組

※ 取り組みもうとする事業の背景となる市場ニーズと客観的データ等を踏まえて詳しく記載します。
※ これまでの事業化に向けた取組の状況（事業化可能性調査等）あるいは事業化の可能性について、提案者又は連絡先との間における、これま
での検討状況等を記載します。

ウ 新技術等の事業化実証の事業内容

エ 新技術等の事業化実証の実施方法

オ 新技術等の事業化実証の実施体制

実施体制図

- ※ 委託を行う団体がある場合は、団体の名称及び概要並びに委託業務の内容を具体的に記載します。
- ※ 農林漁業者や異業種・異業態の事業者間の連携の内容を図により具体的に記載します（事業者の名称、主な担当者氏名、役割分担を記載）。

カ 新技術等の事業化実証の実施スケジュール

キ 新技術等の事業化実証の事業成果・効果

ク 新技術等の事業化実証の事業成果・効果の検証方法

ケ 事業目標（及び事業目標に対する実績）

- ※ 次年度以降の年間事業計画を記載して下さい。
- ※ 上記年間事業計画に対して定量可能な事業目標を記載します。
- ※ 実績報告時には、事業目標に対する実績を併せて記載します。

コ 期待される市場規模

- ※ 本事業の実施により創出しようとする産業について、期待される市場規模等について記載します。

(5) 成果目標

① バリューステムに係る取組（実需者・消費者等へ商品価値の提示を行う取組等）

注：別紙を添付してもよいです。

② イノベーションに係る取組（販路、価値、生産、原材料、組織の5つの分野で新結合を行う取組）

注：別紙を添付してもよいです。

- ③ 地域経済への波及効果を及ぼす取組（競合商品・競合先がなく、地域経済（雇用創出、農林水産業振興、関連産業振興）への波及効果を及ぼす取組）

注：別紙を添付してもよいです。

(6) 行政施策等との関連性等

該当する項目にチェックを入れて下さい。

- ① 市町村戦略に基づいて行う取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

- ② 事業実施主体の所在する市町村で、「地産地消促進計画」を策定していますか（新商品開発・販路開拓の実施の場合、事業実施主体の所在する市町村で策定した「地産地消促進計画」に則した取組ですか。）

☐ 該当します ☐ 該当しません

- ③ 事業実施主体の所在する場所が、「人・農地プラン」の策定されている地域ですか。（新商品開発・販路開拓の実施の場合、事業実施主体が「人・農地プラン」の中心経営体に位置付けられていますか。）

☐ 該当します ☐ 該当しません

- ④ 商品の製造工程においてHACCP（高度化基盤整備を含む）を取り入れています（又は取り入れる見込みがあります）か。

☐ 該当します ☐ 該当しません

- ⑤ 和食などを軸とする観光・食文化政策の展開に資する取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

- ⑥ 地域再生法に基づき、内閣総理大臣から認定された地域再生計画に位置づけられた取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(7) 平成〇〇年度6次産業化ネットワーク活動交付金事業費積算書（推進事業）

団体名：

区分	平成〇〇年度事業費			備考（員数等の根拠等）
	員数	単価	金額	
		円	円	
合計				
交付金額				

注：交付金額の備考欄には、仕入れに係る消費税相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円うち国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」と記入して下さい。

年 月 日

6次産業化ネットワーク活動交付金（整備事業のうち事業者タイプ）実施計画書

都道府県知事又は
市区町村長

殿

事業実施主体名
代表者氏名

印

6次産業化ネットワーク活動交付金実施要綱（平成25年5月16日付け25食産第599号農林水産事務次官依命通知）第5の1に基づき、事業実施計画を提出します。

本事業実施に関する情報の取扱いについての同意の確認

以下について、「同意します」又は「同意しません」のいずれかに○を付けてください。

市区町村の長に提出した事業実施計画、事業実施状況の報告書及び成果目標の達成状況の評価の報告書に記載した情報について、地方農政局長等が、都道府県知事と共有することに、同意します。
同意しません。

※個人情報の取扱い

地方農政局長等は、6次産業化ネットワーク活動交付金の実施に関して得た個人情報について、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」及び関係法令に基づき、適正に管理します。

1 事業実施主体等の概要及び添付書類

(1) 事業実施主体の概要

法律の事業計画認定状況									
法律名		事業計画名		認定状況		認定(申請)年月日			
地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律		総合化事業計画		認定済		申請中		年 月 日	
中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律		農商工等連携事業計画		認定済		申請中		年 月 日	
(ふりがな)		()		代表者		役職名			
事業実施主体の名称						氏名			
主たる事務所の所在地		(下)				性別			
事業実施場所(住所)						電話番号		-	
						FAX番号		-	
						E-mail			
種類		設立年月日		平成		年 月 日		みなし大企業	
業種								みなし大企業	
事業実施主体の概要								常時使用する従業員数	
								重複申請の有無	
事業実施主体の事業内容								有 ・ 無	
過去の類似関連事業の実績、実施内容等								でない	
事業実施主体又は事業担当者の業績等									
事業担当者名									

(添付書類)

(1)応募団体が農林漁業者団体の場合

① 農業経営を行う法人の場合

ア 定款

イ 登記事項証明書

ウ 直近3カ年分の決算報告書(貸借対照表、損益計算書等)

② 新たに農業経営を行う法人を設立する場合

ア 法人設立が確実であることの分かる書類

イ 親会社が存在する場合には、親会社の直近3カ年分の決算報告書

③ ①、②以外の農林漁業者が組織する団体の場合

ア 組織の代表者、出資金及び規約等の分かる書類

イ 経理の一元化を行っていることの分かる書類

ウ 構成員に課税されている場合には、直近3カ年分の決算報告書

④ 共通

ア 見積書

イ 機械・施設等の位置図

ウ 機械・施設等の配置図及び平面図

エ 機械・施設整備の工程(工事日程)等

オ 商品の製造工程(フローチャート)

カ 六次産業化・地産地消法第5条又は第6条の規定に基づく総合化事業計画又は変更した総合化事業計画の写し、又は農工商等連携促進法第4条又は第5条の規定に基づく農工商等連携事業計画又は変更した農工商等連携事業計画の写し

キ 貸付機関からの資金の貸付けに係る計画について当該資金を貸し付ける機関と事前相談等を行ったことが分かる書類(貸付機関名(支店名)、担当者名、連絡先、相談月日等を明記したもの)

ク 施設用地について農地法または農業振興地域の整備に関する法律に係る手続を行う必要がある場合は、その手続等の資料

ケ 土地や施設等を他者から貸借して事業を実施する場合は、事業の実施期間中、確実に事業実施できることを証する賃貸借契約書や誓約書等の資料

コ 本事業において連携する者との連携状況や役割分担等が分かる資料

サ 新商品の販路、加工・製造方法、原料農林水産物の確保等について専門家と相談した上で検討するなど、成果目標を達成するために行った事業実施前の取組の内容が分かる資料

シ 費用対効果分析における投資効率の算定の根拠を明らかにするため、6次産業化ネットワーク活動交付金実施要綱(平成25年5月16日付け25食産第599号農林水産事務次官依命通知)の別記3-4様式に所要の事項を記載した書面及び当該書面のデータの根拠の欄に記載された内容を確認するため必要な書面

(2) 応募団体が中小企業である場合

- ① 定款
- ② 登記事項証明書
- ③ 直近3カ年分の決算報告書(貸借対照表、損益計算書等)
- ④ 組織の代表者、規約等のわかる書類
- ⑤ 見積書
- ⑥ 機械・施設等の位置図
- ⑦ 機械・施設等の配置図及び平面図
- ⑧ 機械・施設整備の工程(工事日程)表
- ⑨ 商品の製造工程(フローチャート)
- ⑩ 農商工等連携促進法第4条又は第5条の規定に基づく農商工等連携事業計画又は変更した農商工等連携事業計画の写し
- ⑪ 貸付機関からの資金の貸付けに係る計画について当該資金を貸し付ける機関と事前相談等を行ったことが分かる書類(貸付機関名(支店名)、担当者名、連絡先、相談月日等を明記したもの)
- ⑫ 施設用地について農地法又は農業振興地域の整備に関する法律に係る手続きを行う必要がある場合は、その手続等の資料
- ⑬ 土地や施設等を他者から貸借して補助事業を実施する場合は、補助事業の実施期間中、確実に事業実施できることを証する賃貸借契約書や誓約書等の資料
- ⑭ 本事業において連携する者との連携状況や役割分担等がわかる資料(農商工等連携事業計画での連携以外にも、多様な事業者と連携する取組の場合のみ添付。)
- ⑮ 新商品の販路、加工・製造方法、原料農林水産物の確保等について専門家と相談した上で検討するなどの、成果目標を達成するために行った事業実施前の取組の内容が分かる資料
- ⑯ 費用対効果分析における投資効率の算定の根拠を明らかにするため、6次産業化ネットワーク活動交付金実施要領(平成25年5月16日付け25食産第599号農林水産事務次官依命通知)の別記3-4様式に所要の事項を記載した書面及び当該書面のデータの根拠の欄に記載された内容を確認するために必要な書面

(2) 連携する事業者の概要 …… 実施要綱別記3-1 第5の1の(1)の②

連携事業者	活動拠点:住所・所在地 (都道府県市町村名)	業種	代表者名 (役職)	連携の内容・役割
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

- 注1 「業種」の欄には、日本標準産業分類における業種(大分類)を記載することとします。(農業、林業、漁業、製造業等)
 2 申請者が農林漁業者の場合、販路等で連携する事業者を記載することとします。
 3 申請者が中小企業者の場合、農商工等連携事業計画で連携する農林漁業者及び販路等で連携する事業者を記載することとします。
 4 連携する者について全て記載し、欄が足りない場合には欄を追加して記載することとします。

2 事業の概要

事業の内容 及び実施方法	
事業の効果 (自らの経営改善 の他、地域農業、 地域経済への効 果等を記入)	
事業の スケジュール	

注 実施要領別記3-1の第2の2を選択している場合は、「事業の内容及び方法」に「新商品」の ①名称 ・ ②概要 ・ ③セールスポイントを必ず盛り込みます。

第5の1の(1)の③及び④

[illegible]

注1「用途」の欄には、「〇〇のカット」、「〇〇の冷蔵」、「〇〇の梱包」等当該機械が備えている機能を記入することとします。

2 「施設名」には、「〇〇食品加工施設」、「〇〇育苗施設」等を、「種類名」の欄には、「建物」、「電気設備」、「空調設備」等を記入することとします。

3 「機械・施設の合計」には機械、施設の「総事業費」、「負担区分」の合計を記入することとします。

4 複数の機械・施設を導入する場合は、欄を追加し記入することとします。

4 機械・施設の規模決定根拠 実施要綱別記3-1 第5の1の(1)の④

機械・施設名		使用する農産物名			製品名			使用工程		
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計			
処理量[t]							0.0			
							0.0			
							0.0			
①										
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	年間合計		
処理量[t]							0.0	0.0		
							0.0	0.0		
							0.0	0.0		
規模決定根拠										

機械・施設名		使用する農産物名			製品名			使用工程		
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計			
処理量[t]							0.0			
							0.0			
							0.0			
②										
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	年間合計		
処理量[t]							0.0	0.0		
							0.0	0.0		
							0.0	0.0		
規模決定根拠										

注 この様式に準ずる既存書類(データ等)がある場合、その写しを添付してこれに代えることができます。
 注 特に、建物等の規模決定根拠はそれぞれのスペース毎にその用途や必要性、規模決定根拠を記載するとともに、スペースの面積がわかる平面図等を添付してください。

5 機械・施設の利用・計画 . . . 実施要綱別記3-1 第5の1a

機械・施設名	対象農林水産物名 連携農林水産物名	利用期間 目標	利用日数 目標	月別利用計画												年間処理・生産 量	備考
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	
																t	

注1 複数の機械・施設を導入する場合は、機械・施設ごとに、記入することとします。

2 複数の農林水産物について利用する場合は、農林水産物ごとに記入することとします。

3 「利用期間」については、「通年」、「〇月～〇月」等分かるように記入することとします。

4 「月別利用計画」については、原則として、事業対象の農林水産物処理量を記入することとします。

6 組織の収支計画 . . . 実施要綱別記3-1 第5の1の(1)の⑥

(1) 農林漁業者団体

経営全体の収支計画

①売上高		1年度目(年 月 期)	2年度目(年 月 期)	3年度目(年 月 期)	4年度目(年 月 期)	5年度目(年 月 期)
品目	項目	千円	千円	千円	千円	千円
	経営規模	a	a	a	a	a
	生産量	t	t	t	t	t
	(うち〇〇〇原料)	t	t	t	t	t
	売上高	千円	千円	千円	千円	千円
	経営規模	a	a	a	a	a
	生産量	t	t	t	t	t
	売上高	千円	千円	千円	千円	千円
	経営規模	a	a	a	a	a
	生産量	t	t	t	t	t
	売上高	千円	千円	千円	千円	千円
	販売数量	本	本	本	本	本
	単価	円/本	円/本	円/本	円/本	円/本
	売上高	千円	千円	千円	千円	千円
売上高のうち総合化事業計画又は農工商工等連携事業計画で用いる農林水産物等及び新商品の売上高		千円	千円	千円	千円	千円

②経営費		千円	千円	千円	千円	千円
原材料費		千円	千円	千円	千円	千円
施設・機械費		千円	千円	千円	千円	千円
うち減価償却費		千円	千円	千円	千円	千円
出荷販売経費		千円	千円	千円	千円	千円
雇用労賃		千円	千円	千円	千円	千円
支払利息		千円	千円	千円	千円	千円
支払地代・賃借料		千円	千円	千円	千円	千円
その他()		千円	千円	千円	千円	千円
所得(①-②)		千円	千円	千円	千円	千円

注1 様式については記載項目の追加等、適宜変更して記載してよいこととします。

2 この様式に準ずる既存の書類(データ等)がある場合、その写しを添付してこれに代えることができます。

3 総合化事業計画等との整合性をとることとします。

(2) 中小企業者

経営全体の収支計画

	1年度目(年 月期)	2年度目(年 月期)	3年度目(年 月期)	4年度目(年 月期)	5年度目(年 月期)
①売上高	千円	千円	千円	千円	千円
②売上原価	千円	千円	千円	千円	千円
③売上総利益(①-②)	千円	千円	千円	千円	千円
④販売費及び一般管理費	千円	千円	千円	千円	千円
⑤営業利益(③-④)	千円	千円	千円	千円	千円
⑥営業外収益	千円	千円	千円	千円	千円
⑦営業外費用	千円	千円	千円	千円	千円
⑧経常利益(⑤+⑥-⑦)	千円	千円	千円	千円	千円
⑨人件費	千円	千円	千円	千円	千円
⑩減価償却費	千円	千円	千円	千円	千円
⑪付加価値額(⑤+⑨+⑩)	千円	千円	千円	千円	千円

注1 様式については記載項目の追加等、適宜変更して記載してよいこととします。

2. この様式に準ずる既存収支(データ等)がある場合は、その写しを添付してこれに代えることができます。

第5の1の(1)の⑦

(単位:t又は千円)

[illegible]

注 総合化事業計画等との整合性をとります。

8 直近3年の経営状況 … 実施要綱別記3-1 第5の1の(1)の⑩

項目	第 期		第 期		第 期		備考
	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
経常利益		千円		千円		千円	
純資産額 (資産と負債の差額)		千円		千円		千円	

※損益計算書により確認

$$\text{經常利益} = \text{營業利益} + \text{營業外收益} - \text{營業外費用}$$

※貸借対照表により確認

9 本事業で扱う農林水産物の生産割合 …… 実施要綱別記3-1 第5の1の(2)

注 実施要綱別記3-1の第2の1 農林漁業者団体による6次産業化ネットワークの取組を選択した方のみ記載します。

総合化事業で用いる農林水産物	1年度目 (年 月 期)		2年度目 (年 月 期)		3年度目 (年 月 期)		4年度目 (年 月 期)		5年度目 (年 月 期)	
		t		t		t		t		t
全数量①										
自社生産量②		t		t		t		t		t
事業参画者生産量③		t		t		t		t		t
合計④(②+③)		t		t		t		t		t
割合=④÷①		%		%		%		%		%
全数量①		t		t		t		t		t
自社生産量②		t		t		t		t		t
事業参画者生産量③		t		t		t		t		t
合計④(②+③)		t		t		t		t		t
割合=④÷①		%		%		%		%		%
全数量①		t		t		t		t		t
自社生産量②		t		t		t		t		t
事業参画者生産量③		t		t		t		t		t
合計④(②+③)		t		t		t		t		t
割合=④÷①		%		%		%		%		%
全数量①		t		t		t		t		t
自社生産量②		t		t		t		t		t
事業参画者生産量③		t		t		t		t		t
合計④(②+③)		t		t		t		t		t
割合=④÷①		%		%		%		%		%

注 1 複数の新商品の場合には、農林水産物ごとに新たに欄を付け加えることとします。

2 複数の農林水産物の場合には、農林水産物ごとに新たに欄を付け加えることとします。

3 「割合」における目標年度の欄は50%以上であることが必要です。

4 数量(t)を用いて算出することとしますが、必要に応じて金額(千円)を用いて算出してでも差し支えありません。

(単位:t、千円)

区分	事業実施前 (年 月期)	1年度目 (年 月期)	2年度目 (年 月期)	3年度目 (年 月期)	4年度目 (年 月期)	5年度目 (年 月期)
製造量						
出荷額						

注「事業実施前」欄には、事業実施初年度の前年度の実績を記入することとします。

連携する農 林水産物名	連携事業者	連携農林水産物の取扱計画						
		事業実施前 (年 月期)	1年度目 (年 月期)	2年度目 (年 月期)	3年度目 (年 月期)	4年度目 (年 月期)	5年度目 (年 月期)	
	小計①							
	連携事業外②							
	合計③＝①＋②							
	連携比率①÷③	%	%	%	%	%	%	
	小計①							
	連携事業外②							
	合計③＝①＋②							
	連携比率①÷③	%	%	%	%	%	%	

注 1 複数の農林水産物について連携する場合には、農林水産物ごとに新たに欄を付け加えてることとします。

2 同一農林水産物で複数の連携事業者がいる場合は、連携事業者ごとに記入することとします。

3 「連携事業者」欄の「連携事業者以外からの調達数量の合計を記入することとします。

4 「事業実施前」欄には、事業実施初年度の前年度の実績を記入することとします。

5 「連携比率」における目標年度とする欄は50%以上であることが必要です。

11 専門用語の説明

これまでの記述内容に関して専門用語がある場合は下記に説明を記載することとします。

用 語	説 明



12 バリューステムやイノベーションに係る取組について

(1) バリューステムに係る取組(実需者・消費者へ商品価値の提示を行う取組等)

--

* 別葉可

(2) イノベーションに係る取組(商品、原材料、生産方法、販路、組織の5つの分野で新結合を行う取組)

--

* 別葉可

(3) 地域経済への波及効果を及ぼす取組(競合商品・競合先がなく、地域経済(売上、所得、雇用)への波及効果を及ぼす取組)

--

* 別葉可

13 行政施策等との関連性

該当する項目にチェックを入れてください。

(1) 事業実施主体の所在する市町村(申請者の所在地又は施設整備を行う場所)で策定した「地産地消促進計画」に則した取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(2) 事業実施主体が「人・農地プラン」の中心経営体に位置付けられていますか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(3) 商品の製造工程においてHACCP(高度化基盤整備を含みます。)を取り入れています(又は取り入れる見込があります)か。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(4) 和食などを軸とする観光・食文化政策の展開に資する取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

注 「該当します」をチェックした場合には、それを確認することのできる資料又は参考となる資料を添付することとします。

年 月 日

6次産業化ネットワーク活動交付金（整備事業のうち地域タイプ）実施計画書

都道府県知事又は
市区町村長

殿

事業実施主体名
代表者氏名

印

6次産業化ネットワーク活動交付金実施要綱（平成25年5月16日付け25食産第599号農林水産事務次官依命通知）第5の1に基づき、事業実施計画を提出します。

〔事業実施に関する情報の取扱いについての同意の確認〕

以下について、「同意します」又は「同意しません」のいずれかに○を付けてください。

市区町村の長に提出した事業実施計画、事業実施状況の報告書及び成果目標の達成状況の評価の報告書に記載した情報について、地方農政局長等が、都道府県知事と共有することに、同意します。
同意しません。

※個人情報の取扱い

地方農政局長等は、6次産業化ネットワーク活動交付金の実施に関して得た個人情報について、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」及び関係法令に基づき、適正に管理します。

1 事業実施主体等の概要及び添付書類

(1) 事業実施主体の概要

(ふりがな)		()		代表者		役職名			
事業実施主体の名称				氏名		性別			
主たる事務所の所在地		(〒 - -)		電話番号		FAX番号		- -	
事業実施場所(住所)				E-mail				- -	
六次産業化・地産地消法に基づく促進事業者の確認		である・でない		総合化事業計画 認定年月日		平成		年 月 日	
業種		設立年月日		平成		年 月 日		重複申請の有無	
								有 ・ 無	
事業実施主体の概要									
事業実施主体の事業内容									
過去の類似関連事業の実績、実施内容等									
事業実施主体又は事業担当者の業績等									
事業担当者名									

- 注 1 「業種」の欄には、日本標準産業分類における業種を記入することとします。(製造業等)
2 「事業内容」の欄には、定款又は規約等で定められる事業内容の全てを記載することとします。
3 本事業以外に国、その他の公的支援が受けられる事業に応募の場合は「重複申請の有無」の欄で有を選択し申請中の事業名及び事業概要を記入することとします。
4 「事業実施主体における役職名」の欄には、農事組合法人は「理事」、株式会社は「取締役」、合名会社、合資会社等は「代表」等と記入することとします。
5 今年度既に採択が決定及び実施している事業があれば併せて事業名及び事業概要を記入することとします。

(添付書類)

(1) 応募団体が市町村の場合

- ① 機械の見積書
- ② 機械の配置図
- ③ 機械設置の工程(工事日程)表
- ④ 新商品の開発工程(フローチャート)
- ⑤ 施設等を他社から借用して本事業を実施する場合は、事業実施期間中、確実に事業実施できることを証する賃貸借契約書や誓約書等の資料
- ⑥ 市町村戦略の写し
- ⑦ 費用対効果分析における投資効率の算定の根拠を明らかにするため、6次産業化ネットワーク活動交付金実施要綱(平成25年5月16日付け25食産第599号農林水産事務次官依命通知)の別記3-4様式に所要の事項を記載した書面及び当該書面のデータの根拠の欄に記載された内容を確認するために必要な書面

(2) 応募団体が民間団体等(6次産業化・地産地消推進協議会の構成員又は促進事業者)の場合

- ① 定款
- ② 登記事項証明書
- ③ 直近3か年分の決算報告書(貸借対照表、損益計算書等)
- ④ 組織の代表者、規約等のわかる資料
- ⑤ 資金の貸付けに係る計画について当該資金を貸し付ける機関と事前相談等を行ったことが分かる書類(貸付機関名(支店名)、担当者名、連絡先、相談月日等を明記したもの)
- ⑥ 機械の見積書
- ⑦ 機械の配置図
- ⑧ 機械設置の工程(工事日程)表
- ⑨ 新商品の試作工程(フローチャート)
- ⑩ 施設等を他社から借用して本事業を実施する場合は、事業実施期間中、確実に事業実施できることを証する賃貸借契約書や誓約書等の資料
- ⑪ 市町村戦略の写し
- ⑫ 6次産業化・地産地消推進協議会の構成員であることを確認できる資料(促進事業者にあつては、総合化事業計画の写し)
- ⑬ 費用対効果分析における投資効率の算定の根拠を明らかにするため、6次産業化ネットワーク活動交付金実施要綱(平成25年5月16日付け25食産第599号農林水産事務次官依命通知)の別記3-4様式に所要の事項を記載した書面及び当該書面のデータの根拠の欄に記載された内容を確認するために必要な書面

2 事業の概要

事業の内容 及び実施方法	
事業の効果 (地域農業、地域 経済への効果等 を記入)	
事業の スケジュール	

9.

2 複数の機械を導入する場合は、欄を追加し記入することとします。

4 新商品の開発計画 …… 実施要綱別記3-2 第5の1の(2)

(1) 新商品の概要

新商品名	
新商品の概要	
原料農林水産物名	
開発期間	
販売予定時期	

- 注1 新商品の概要欄には、製法や他の商品には無いセールスポイント等を含めて記入することとします。
 2 複数の新商品を開発する場合は、新商品ごとに欄を追加し記入することとします。
 3 原料農林水産物等の欄には、新商品の主な原材料となる当該市町村で生産される農林水産物等を記入することとします。

(2) 商品化に至る新商品数の見込み

単位：(件)				
1年度目 (年・月・期)	2年度目 (年・月・期)	3年度目 (年・月・期)	4年度目 (年・月・期)	5年度目 (年・月・期)

注4 (1)で記入した新商品の総計を記入すること。なお、一度販売した商品であっても一部仕様を変更するため新商品開発を行い再度販売する場合には、仕様変更前の商品とは別の新商品としてカウントできるものとします。

5 機械の利用計画 …… 実施要綱別記3-2 第5の1の(4)

【加工機械】

機械名:

新商品名	利用期間	利用日数	月別利用計画(月)												備考
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	目標	目標													

【分析機械】

機械名:

新商品名	利用期間	利用日数	月別利用計画(月)												備考
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	目標	目標													

注1 複数の機械・施設を導入する場合は、機械ごとに欄を追加記入することとします。

2 複数の新商品について利用する場合は、新商品ごとに記入することとします。

3 「利用期間」については、「通年」、「〇年〇月～〇年〇月」等が分かるように記入することとします。

4 「月別利用計画」については、機械の稼働日数を記入することとします。

5 分析機器については、開発された新商品の成分分析に利用する場合にも稼働日数として計上することとします。

6 専門用語の説明

これまでの記述内容に関して専門用語がある場合は下記に説明を記載することとします。

用 語	説 明

7 バリュエーションシステムやイノベーションに係る取組について

(1) バリュエーションシステムに係る取組(実需者・消費者へ商品価値の提示を行う取組等)

※別葉可

(2) イノベーションに係る取組(商品、原材料、生産方法、販路、組織の5つの分野で新結合を行う取組)

※別葉可

(3) 地域経済への波及効果を及ぼす取組(競合商品・競合先がなく、地域経済(売上、所得、雇用)への波及効果を及ぼす取組)

※別葉可

8 行政施策等との関連性

該当する項目にチェックを入れてください。

(1) 事業実施主体の所在する市町村(申請者の所在地又は施設整備を行う場所)で策定した「地産地消促進計画」に則した取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(2) 事業実施主体が「人・農地プラン」の中心経営体に位置付けられています。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(3) 商品の製造工程においてHACCP(高度化基盤整備を含みます。)を取り入れ、(又は取り入れる見込みがあります)か。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(4) 和食などを軸とする観光・食文化政策の展開に資する取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

(5) 地域再生法に基づき、内閣総理大臣から認定された地域再生計画に位置付けられた取組ですか。

☐ 該当します ☐ 該当しません

注 「該当します」をチェックした場合には、それを確認出来る資料又は参考となる資料を添付してください。

別紙様式第4号 (第5関係)

番 号
年 月 日

〇〇農政局長 殿

都道府県知事
市区町村長

氏 名 印
氏 名 印

平成 年度6次産業化ネットワーク活動交付金の都道府県計画等の(変更の)妥当性の協議
について

6次産業化ネットワーク活動交付金実施要綱(平成25年5月16日付け25食産第599号農林水産事務
次官依命通知)第5の2に基づき、関係書類を添えて協議する。

- (注) 1 関係書類として、別紙様式第4号(別表)に、本要綱第5の1又は2の規定(3の規
定により準用する場合を含みます。)により提出された事業実施計画及び自らが事業実
施主体となる事業の事業実施計画の写しを添付することとします。
2 特認団体の協議がある場合は、別紙様式第10号の特認団体認定協議書を添付すること
とします。

[illegible]

(注) 1 「市町村名」の欄については、都道府県が事業を行う場合には省略すること。
2 「メニエー」の欄については、要綱別表に掲げるメニエー欄の事業名称を記入すること。
3 「事業内容」の欄については、要綱別表に掲げるメニエー欄の事業内容を記入するほか、整備事業においては、整備する施設の名称、規模及び処理量を記入すること。
4 「負担区分」の欄には、必要規模の範囲内の金額を記入すること。

別紙様式第4号 (第5関係)

2-①. 支援体制整備事業

No.	事業実施主体名	事業費 (千円)	交付金 (千円)	事業実施計画に対する評価の基準による配点											ポイント 総計	備考
				I												
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
1														0		
2														0		
3														0		
4														0		
5														0		
6														0		
7														0		
8														0		
9														0		
10														0		
11														0		
12														0		
13														0		
14														0		
15														0		
16														0		
17														0		
18														0		
19														0		
20														0		
合計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 「事業実施計画に対する評価の基準による配点」の欄については、「6次産業化ネットワーク活動交付金の配分基準について」(平成25年5月16日付け25食産第626号食料産業局長通知)に規定する評価項目ごと毎にポイントを記入すること。

別紙様式第4号 (第5関係)

2-②. 推進事業 (事業者タイプ)

No.	事業実施主体名	事業費 (千円)	交付金 (千円)	事業実施計画に対する評価の基準による配点																				ポイント 総計	備考	
				I										II		III	IV		V							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲				
1																								0		
2																									0	
3																									0	
4																									0	
5																									0	
6																									0	
7																									0	
8																									0	
9																									0	
10																									0	
11																									0	
12																									0	
13																									0	
14																									0	
15																									0	
16																									0	
17																									0	
18																									0	
19																									0	
20																									0	
合計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 「事業実施計画に対する評価の基準による配点」の欄については、「6 水産業化ネットワーク活動交付金の配分基準について」(平成25年5月16日付け25食産第626号食料産業局長通知)に規定する評価項目ごと毎にポイントを記入すること。